

復興デザイン会議  
第7回 復興デザイン研究賞（旧復興研究論文賞） 募集要項

【趣旨】

復興デザイン研究賞は、復興デザインに関わる研究業績をあげた個人を表彰します。

復興をデザインするという新たな社会的課題に応えるため、災害復興および事前復興に関する研究を通じて、学術的な理論の構築、知見や技術の体系化、研究方法論の確立などに顕著な貢献をなしたと認められる個人を表彰します。自然災害やNatech(自然災害に起因する産業事故)・戦争・原子力事故など、国内外の復興を扱った研究に取り組んでいる個人の自薦・他薦を問わず募集します。

【賞の種類と審査対象】

各賞とも日本国内の研究・教育機関等に在籍中もしくは在籍経験のある研究者・学生を対象とする。なお、選定においては、上記趣旨をふまえ、学術的な完成度等に加え、復興デザイン研究への貢献を多面的に評価するものとする。復興デザインへの貢献に関しては、復興の現場との応答、実践への架橋が意識されていること、あるいは、復興デザイン研究の裾野を広げていることを高く評価する。

○一般部門（学生<sup>注</sup>以外を対象とします）

- ・最優秀研究賞：優秀研究賞の内、特に優れた研究業績をあげた研究者を表彰します。
- ・優秀研究賞：復興デザインに関わる研究業績をあげた研究者、または将来性・発展性が顕著な研究を行う研究者を表彰します。

なお、過去に復興デザイン研究賞の優秀研究賞、または、復興論文研究賞の優秀賞を受賞した者が、新たに研究業績を上げた場合、最優秀研究賞に応募することを可能とする。

また、過去に復興デザイン研究賞の優秀研究賞、または、復興論文研究賞の優秀賞を受賞した者が同一テーマで再度優秀研究賞に応募することはできない。ただし、受賞した研究テーマ以外での再応募は妨げない。

○学生部門

- ・奨励研究賞：復興デザインに関わる研究業績をあげた、または将来性・発展性が顕著な研究を行う学生<sup>注</sup>を表彰します。

注. 2025年9月末時点で大学又は大学院の正規課程に在籍している者、または博士の学位取得から1年以内の者(年齢は問わない)。学位取得者については、奨励研究賞の対象となる場合であっても優秀研究賞への応募可。

【受賞】：最優秀研究賞は最大1名。優秀研究賞は最大4名。奨励研究賞は最大4名。

【審査委員】

委員長：原田昇(交通計画・中央大学教授)

副委員長：大月敏雄(建築計画)、福田大輔(交通計画)、本田利器(地震工学)

委員：小野田泰明(建築計画)、小林祐司(避難行動)、菊池雅彦(復興計画)、近藤民代(居住環境計画)、佐藤慎司(海岸計画)、田島芳満(海岸工学)、田中貴宏(都市計画)、羽藤英二(都市計画)、牧紀男(防災計画)、森脇亮(環境工学)、円山琢也(交通計画)、目黒公郎(防災計画)

【審査方法・スケジュール】提出書類に基づき、審査を行う。11月上旬頃にHP上で結果を発表する(本人にも通知)。復興デザイン全国大会当日(12/7に愛媛大学(松山市内)で開催予定)に受賞者の表彰式を実施する。

【提出書類】 いずれも PDF 形式にて提出してください。

- ・ 推薦書 (HP よりダウンロード) ※自薦・他薦は問わない
- ・ 主要論文 1 編 : 2010 年以降に国内外の学術誌に掲載された復興に関する研究論文または学位論文 (修士論文、または博士論文) 、報告等
- ・ 関連論文 4 編以内 : 主要論文に関連する研究論文、報告等 (筆頭著者の論文には限らない)

【応募方法】 提出書類を下記問合せ先のメールアドレスに送付してください。

【提出締切】 2025 年 9 月 19 日 (金) 23:59 まで

【提出・問合せ先】 [redesign.alliance@gmail.com](mailto:redesign.alliance@gmail.com) (復興デザイン会議事務局)

以上